湖畔の彫刻清掃
観光客へのおもてなし

観光シーズンを迎えて、観光客にきれいな彫刻を楽しんでみてもらおうと今年も、６月２日教育委員会が主催して洞爺地区に設置されている「ぐるっと彫刻公園」の清掃が行われました。

当日は、親子連れなど約30人が参加して、風雨などで汚れた彫刻をぴかぴかに磨き上げました。

参加者は、２グループに分かれて出発。高圧洗浄機で彫刻を洗った後、ブラシや雑巾などを使って「野外彫刻を長く楽しめるように」との願いを込めながら、冬の間にたまった埃や汚れを落としました。

１年の汚れを落としピカピカに磨き上げる参加者の皆さん

「しあわせのパン」のロケ地の浮見堂を歩く参加者

ウォーキングでまちの魅力発見
自然に親しむ集い＆史跡めぐり

自然に親しみながら、史跡などを巡り、町内の歴史を知ろうと、６月９日「自然に親しむ集い＆史跡めぐりウォークラリー（教育委員会・洞爺湖町健康づくり推進員会主催）が行われ、約40人が参加しました。

サイロ展望台から、観湖台、曙地区、浮見堂、水の駅、洞爺湖芸術館までの約６㌔を歩きました。

参加者は、新緑の息吹を感じながら、「しあわせのパン」のロケ地などにも立ち寄り、まちの新たな魅力を発見しました。

ＮＥＣソフトウエア北海道泉で植樹
森づくり協定でアカエゾマツ400本

昨年４月洞爺湖町と「ほっかいどう企業の森林づくり」協定を結び、第１回の植樹祭を行ったＮＥＣソフトウエア北海道が、昨年に続き泉の「見晴らしの森」で６月９日植樹を行いました。

家族仲良く植樹する親子連れ

同社の社員、家族約90人が参加し、胆振総合振興局森林室豊浦事務所の皆さんから指導を受け、アカエゾマツの苗400本を植えました。

今年初めて参加した家族連れは「初めての経験で、楽しい思い出となった」と話し、昨年の参加者は「１年ぶりに見て、育っているので感激しました」成長を喜んでいました。

少年の主張大会
虻田中３年山本さん最優秀賞

６月７日洞爺湖町少年の主張大会（洞爺湖町青少年健全育成連絡協議会主催）が、あぶたふれ合いセンターで開かれ、虻田、洞爺湖温泉、洞爺のそれぞれの中学校から各２人が出場し、自分の考えを堂々と述べました。

最優秀賞には、「人とのつながり」と題して、吹奏楽部長の体験から人への思いやりを訴えた山本あゆみさん（虻田中３年）受賞しました。そのほか受賞は次のとおり。

優秀賞　佐藤厚太さん（洞爺中１年）・鈴木彩理奈さん（洞爺中３年)/優良賞　安達　彩さん(温泉中２年)・児玉美穂さん（虻田中３年)・藤兼聖子さん(温泉中２年)

最優秀賞を受賞した山本あゆみさん